

第11号

発行 放送大学北海道同窓会

編集 広報担当

発行日 2008年10月15日(水)

会員数147名(2008年10月4日現在)

放送大学 北海道同窓会会報

平成20年度定期総会開催

平成20年度定期総会が5月11日(日)午後1時から、学習センター6F会議室で開催されました。会長挨拶の後、顧問の富田学習センター所長からご挨拶を頂き議事に入りました。

第1号～第3号議案(平成19年度事業経過報告・会計収支決算報告・会計監査報告)、第4号～第5号議案(平成20年度事業計画案・会計収支予算案)、第6号議案(会則の一部改正)、第7号議案(役員幹事の補充)について、いずれも承認されました。

平成20年度の北海道同窓会の主な行事予定としては、

- (1) 年2回「卒業・修了を祝う会」の開催。合わせて卒業生の感想文を「ひとこと集」として冊子にまとめて発行。
- (2) 「第4回全道生涯学習研究発表会」の開催(道民カレッジの連携講座として6月21日開催済)
- (3) 年2回の会報発行。大学と協力し、「学生募集」PR活動を実施していきます。

2007年度会計収支決算書

(2007年4月1日～2008年3月31日)

○収入の部

単位:円

科目	予算額	決算額	増減	備考
繰越金	157,468	157,468	0	
入会金	10,000	22,000	12,000	
年会費	116,000	120,000	4,000	前受会費67,000、会費53,000
その他の収入		44,281		特別会計繰入22,388他
合計	283,468	343,749	16,000	

○支出の部

科目	予算額	決算額	増減	備考	
通信費	50,000	34,086	△15,914	会報送料ほか	
事務費	20,000	19,550	△450	コピーカード、USBメモリーほか	
行事費	生涯学習研究費	21,000	21,000	0	資料代収入33,000-支出54,000
	会報・広報費	10,000	5,917	△4,083	広告収入10,000-支出15,917
	卒業を祝う会費	22,000	17,484	△4,516	参加費収入96,400-支出113,884
	その他	10,000	0	△10,000	
交通費	15,000	15,000	0	役員等交通費補助	
予備費	135,468	41,944	△93,524	前会長葬儀、連合会会議旅費ほか	
次期繰越金	0	188,768	188,768	預金274,658、郵便振替168,110	
合計	283,468	343,749	60,281		

※前期繰越前受会費144,000+当期受入前受会費110,000=時期繰越前受会費254,000

行事費の内訳

項目	収入	支出	決算額	備考
生涯学習研究費	33,000	54,000	21,000	資料代 500円×66
会報・広報費	10,000	15,917	5,917	広告収入10,000円
卒業を祝う会	96,400	113,884	17,484	前期33,200円 後期62,400円、800円

◎年会費(入会金を含む)前受金納入状況

科目	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
前受金	114,000	41,000	24,000	19,000	11,000	10,000

科目	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度以降分	合計
前受金	10,000	7,000	3,000	15,000	254,000

2008年度会計収支予算

(2008年4月1日～2009年3月31日)

○収入の部

単位:円

科目	予算額	備考
前期繰越金	188,768	
入会金	25,000	前受入金18,000
年会費	130,000	前受会費96,000
その他の収入	232	受取利息
合計	344,000	

○支出の部

科目	予算額	備考
通信費	40,000	会報送料ほか
事務費	25,000	コピー代ほか
行事費	87,000	
(生涯学習研究費)	25,000	資料代収入との差額
(会報・広報費)	15,000	会報・広報制作費
(卒業を祝う会費)	25,000	祝う会費、記念品代との差額
(ホームページ費)	12,000	ホームページ運営費用
(その他)	10,000	座談会などの行事
連合会加盟費	7,000	50円×会員数
旅費交通費	45,000	
(交通費)	25,000	役員交通費補助
(旅費)	20,000	同窓会連合会会議旅費補助
予備費	140,000	
合計	344,000	

<2008年度 活動日誌>

5月11日 2008年度 総会	8月 6日 第2回役員会
5月16日 第1回役員会	9月 3日 第2回卒業を祝う会実行委員会
5月22日 臨時役員会	10月4日 2008年度1学期卒業を祝う会
5月30日 第2回生涯研究実行委員会	10月10日 卒業を祝う会「ひとこと集」発行
5月31日 第11回放送大学同窓会連合会 総会(会長 出席)	10月15日 会報第11号発行
6月21日 第4回全道生涯学習研究発表会	10月末日 卒業生・修了生からの寄贈図書

第4回全道生涯学習研究発表会を開催

去る6月11日道民カレッジ連携講座も兼ねて、北海道学習センター6階中講義室にて開催いたしました。



記念講演：成人・高齢者の学びと大学

木村 純教授（教育学博士）北海道大学高等教育機能開発総合センター 生涯学習計画研究部

研究発表：清水町第九定期演奏会の継続が、地域の活性化に果たした役割

瀬川 玲子

研究発表：食の安全、もう一つの考え方 -生活習慣病・食事バランスガイド-

竹田 加代

第4回全道生涯学習研究発表会を終了して

放送大学北海道同窓会

全道生涯学習研究発表会実行委員会

第4回全道生涯学習研究発表会が無事終了致しました。お陰様で大変好評の感想が寄せられて終わることが出来ました。ご参加下さいました皆様ありがとうございました。この機を次の学習へのステップにして頂けたら嬉しく思います。また道民カレッジ登録の皆様も多数ご参加下さいました。放送大学北海道同窓会を通して放送大学の事を知って頂けたら幸いです。今年で4回目を迎え、さらに内容を充実したものにし、参加者のご要望に応えられるよう実行委員会で検討を重ねてまいりました。社会性があること、身近な問題、そして放送大学生での研究発表と欲張りながら今回すばらしい発表者が決まりました。実行委員会のうるさい要望を快く聞いて頂き本当に感謝致しますとともに、あらためてお礼を申し上げます。

記念講演「成人・高齢者の学びと大学」北大教授 木村 純先生

お話しは、高齢化社会を迎えて地域社会と生涯学習のあり方を示唆して頂けるもので、大変教育的であり、学習になりました。

テーマ「食の安全、もう一つの考え方」 竹田 加代氏

お話しは、今年は特に偽造や毒物混入等、食生活を脅かす事が次々に起こり、時を得た内容にみなさん関心をもたれたのではと思います。

テーマ「清水町第九定期演奏会の継続が地域の活性化に果たした役割」 瀬川玲子氏

お話しは放送大学大学院で大変ご苦労なさって書き上げた卒業論文を、清水町の地域活性化の取り組みとしての内容で発表致しました。今、まさに北海道のどこの地域でも必要としている問題です。

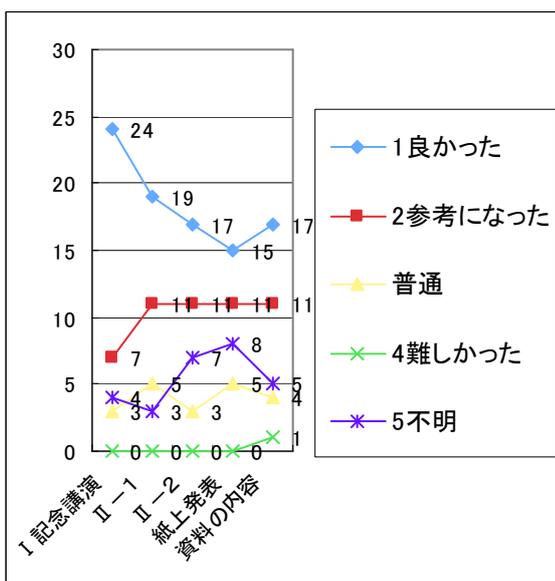
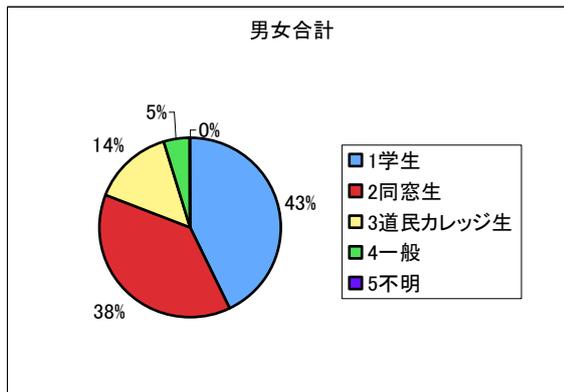
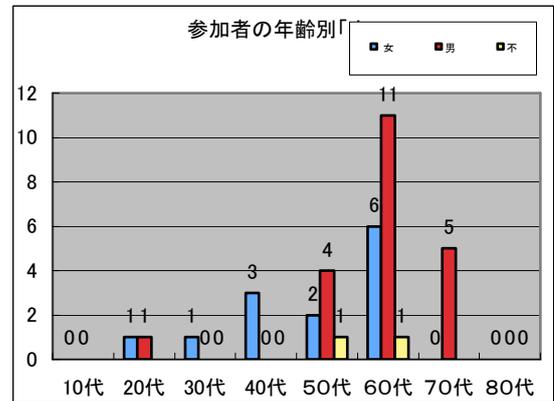
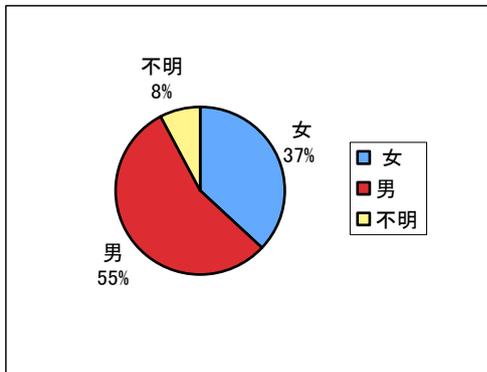
三人の発表者に共通しているのは、現在社会で身近に起きている私たちの問題提起ではないでしょうか。放送大学同窓生、現在学んでいる放送大学生、生涯学習として学んでいる道民カレッジの皆さんが、学んだことを少しでも地域に生かしたらと思います。また第5回に向けて実行委員会も今日からスタートします。発表者の皆様、ご参加の皆様、放送大学学習センター所長富田先生はじめ学習センターの職員の皆様、実行委員会の皆様ありがとうございました。

園田 記

第4回全道生涯学習研究発表会のアンケート結果

第4回全道生涯学習研究発表会参加された内の38名の方からアンケート回答のご協力をいただきました。

このアンケート回答結果を皆さんに報告するとともに今後の研究発表会に役立てて行きたいと思っております。



<今後の希望内容>

- ・医療制度のこれから
- ・歴史—現代に生きるイスラム・心
- ・20・30代の女性のためのジェンダーの社会学
- ・宇宙の地球について考えるべき時代
- ・臨床心理・社会心理関係について
- ・保健医療の経済と私たちの生活について
- ・北海道の近代史
- ・北海道の食料自給について
- ・社会・経済・産業の資源について
- ・年金・保険の国・道・市財政について
- ・現代社会ニュース・メディアについて
- ・少子高齢化等に伴う福祉・健康などの講座

全道生涯学習研究発表会を終えて

北海道消費者協会・コープさっぽろ出前講座 講師
竹田 加代

何気なく引き受けた研究発表でしたが、終わってみて自分自身得ることがとても大きい出来事でした。

消費者運動にかかわって一主婦から社会参加してきたことに大きな喜びや、必ずしも本意でない行動の中での葛藤を経て、心から学んで見たいことを右往左往しながら今実行しているわけですが、この生涯学習研究発表会に臨んで、大きな感銘を受けました。

学びたい、学ぶことに大きな喜びや生きがいをもたれている方が大勢いらっしゃることに、そういうエネルギーを大学がサポートし、参画していることを肌で感じました。そして、私はまさにその道を歩んでいるのだと思いました。

記念講演「成人・高齢者の学びと大学」を拝聴していて気づいたことは、義務として通っていた遠い昔の学校での授業への気持ちと、主婦としての日常生活から出て学ぶ機会を得た時では全くといっていいほど姿勢が違っていたことです。純粹に学ぶことの喜びだったのです。時を経て私は今、受身の知識では満足できず、知りえた情報を消費者に正しく伝えたいとの思いから、より多くのまた多角的な情報を積み上げて考えてもらう啓発活動の実践をしているのですが、これもまた生涯教育の地域に生かす活動になっているのだと気づいたのです。

研究発表の「清水町第九定期演奏会の継続が、地域の活性化に果たした役割」には、地方の町での可能性が感じられました。むしろ地方の町ゆえと、音楽を愛する核になる人々とが作り出した豊かさではないかと発表を伺いながら思いました。

札幌のような大都市では自由すぎる行動要因が、地域から飛び出すことになっているように思います。自分の住む地域でなくても共有したり、共感出来る仲間作りが可能だからです。

さまざまなことに気づかされた一日でした。また発表をするにあたって事務局のかたがたから助言、要請をいただいたことも良い経験になりました。自分に足りないもの、気づかなかったことがこれからの活動に貴重な助言だったからです。「思いを伝える」ことが如何に難しいかをあらためて胸に刻み、これからも学ぶことの喜びと伝えることの意義を大切にしながら歩んでいきたいと思えます。



第5回 全道生涯学習研究発表会の発表者募集

— 皆様の研究＜発表概要＞＜発表内容＞
を募集しています—

要綱：A4用紙1～2枚程度の概要を同窓会
までお寄せください。

発表内容は、後日改めて提出をお願いいたします。

問合せ先：北海道同窓会

＜2007年2学期卒業生・修了生からの寄贈図書のおしらせ＞

平成20年3月卒業・修了生から放送大学へ本の寄贈を致しました。
前回に続きメンタルヘルス実践大系「教育編」の第5巻から第8巻です。

5 いじめ・自殺 6 問題・行動・暴行・非行 7 受験・恋愛・性 8 肥満・やせ・食事
の4冊。

「近年、職域だけでなく教育現場においても、メンタルヘルスの問題がクローズアップされてきています。それは急激な技術革新、広範な情報化社会等の到来により、教育環境、職場環境に質的变化をもたらされた結果によるものでありましょう。」(本書より)

これらの本は、わかりやすい解説といくつかの症例、事例によって構成されています。
きっと皆さんの身近な問題や学習に役立てて頂けると思います。

是非一度お手にとってご覧下さい。

メンタルヘルス実践大系

日本図書センター

全10巻のうち5～8巻

- | | |
|--------------------------|-----|
| (1) いじめ・自殺 | 第5巻 |
| 責任編集：北村陽英 . 荒井淳雄 | |
| (2) 問題・行動・暴行・非行 | 第6巻 |
| 責任編集：笠原洋勇 . 児玉隆治 . 長谷川義縁 | |
| (3) 受験・恋愛・性 | 第7巻 |
| 責任編集：幹 吉佑・飯長喜一郎 . 佐藤 允彦 | |
| (4) 肥満・やせ・食事 | 第8巻 |
| 責任編集：中野弘一・高木洲一郎 . 森田光子 | |

<<トピックス>>

去る9月27/28日、放送大学在学学生・同窓生が、小平町・羽幌町の海岸で「環境保全のゴミ拾い」に参加してきました。札幌 56名・地元40名の約100名位で、海鳥レンジャーの人たちも加わって約4トンの流漂物などのゴミを拾いました。「特にプラスチックゴミなどは、海鳥やその他の生物に悪影響を及ぼしている」と海鳥センターの方からレクチャーを受けました。このセンターは、日本で唯一の海鳥の調査研究保護を行う機関です。



今後NPO法人 北海道海浜美化の会活動に積極的に参加していきたいと思
います。多くの同窓生の参加を希望します。

記：中根

故 牧野金太郎氏（北海道同窓会前会長）を偲ぶ

牧野金太郎氏との出会い

放送大学 全科履修生 武口 米吉

牧野さんに初めてお会いしたのは、平成 11 年の秋 面接授業終講の折、担当の竹田教授の助言で、受講した学生によるサークルを立ち上げる事になった時でした。牧野さんが代表世話人を買って出ることになり、私がある場の成り行きで世話人の一人として、参加することになったのです。サークルの名は「社会の発展と教育の歴史を学ぶ会」とし 11 名で発足、12 月 7 日認可となり、活動開始はまさに 21 世紀初頭 2000 年の 1 月からでした。私は「名ばかり」世話人で牧野さんには大変ご迷惑をお掛けしました。会は 2001 年 10 月 31 日で一応の目的を達し閉じたのですが、その間 会報「楽求通信」は 20 号まで氏の努力で発行されました。閉会の後も牧野さんにはご交誼を頂き、私にとっては啓発されること多く、まことに得がたい先輩としてお付き合いさせて頂き、深く感謝する処です。特に何事にも真摯に対応する態度には、全く頭の下がる思いを致しました。10 年に及ぶ氏とのご厚誼の中で思い出すことは色々あります。

- ・ 竹田教授の最終講義に共に出席した事（H12.3.2 於クラーク会館）・「戦時下の初等教育について」－国民学校とその周辺－ という表題で例会に発表させて頂いた事
- ・ 北教組主催の「教育研究集会」を傍聴した事（H14.11 於小樽市）・第 3 回全道生涯学習研究発表会で発表させて頂いた事（H19.6）・小樽に牧野さんを迎えて在樽メンバーの小林和昭・安田しおり・武口の 4 人で「ご苦労さん会」を開いた事（H13.11.6）
- ・ 牧野さんの放送大学卒業を祝って教え子の皆さんが開いた「生きがい大賞をお祝いする会」に出席させて頂いた事（H.16.2.29 於ホテルライフオート）
- ・ 同窓会発足の頃の苦労話 等々

氏との触れあいの中で心に残ったことをご紹介させて頂き、思い出のよすがにさせて頂きました。終わりに先に述べた「生きがい大賞をお祝いする会」の席で、牧野さんが朗読された 童話「葉っぱのフレディ」－いのちの旅－ の一節を紹介してペンを置きたいと思います。

「いつかは死ぬのさ。でも“いのち”は永遠に生きていくのだよ。」
とダニエルは答えました。
葉っぱも死ぬ、木も死ぬ。そうすると春に生まれて冬に死んでしまうフレディの一生には どういう意味があるというのでしょうか。
「ねえ ダニエル。僕は生まれてきてよかったのだろうか。」
とフレディはたずねました。

牧野金太郎さん ありがとうございます

合掌

会費納入と新入会員募集のお知らせ

2008年度の継続会員の方は、今年度の年会費**1,000円**を下記口座へ2008年10月31日(金)までに納入くださるようご協力をお願いします。

また、同窓生の中で同窓会に入会していない方がおられましたら、入会をおすすめくださるようお願いいたします。

入会を希望される方は、郵便振替用紙に「氏名、住所、電話番号、卒業年月、専攻」をご記入の上、入会金1,000円、年会費(初年度)1,000円を下記口座へご送金ください。(次年度以降は年会費のみとなります。)

郵便口座名 放送大学北海道同窓会

口座番号 02740-0-37725

放送大学を宣伝してください!

皆さんの『ロコミ』で、放送大学に入学して良かったと思うことを、大勢の方々に知らせてください。

入学等に関する問合せ先

放送大学北海道学習センター

TEL 011-736-6318

「会員の声・読者の声」募集中!

現在、会員や読者の皆さんの声を募集しております。皆さんの近況や会報へのご感想、ご意見がございましたら、是非、お寄せください。

(宛先) 〒060-0817

札幌市北区北17条西8丁目 北海道大学構内

放送大学北海道学習センター気付

放送大学北海道同窓会

新入会員のご紹介!! (敬称略・順不同)

2008年3月卒業生・修了生

(人) 畠山 哲洋	(発) 中野 順市
(生) 小田島 恭士	(人) 齋藤 裕子
(発) 具志 千晶	(生) 浜谷 勝昭
(人) 高橋 健治	(発) 佐々木佐津子
(生) 池田 依子	(人) 佐藤 令
(発) 鈴木 富子	(生) 田山 恵美
(人) 金澤 嘉子	(産) 吉田 賢治
(生) 宮崎 秀子	(人) 千葉 則男
(産) 松永 政年	(生) 村上美知子
(社) 滝沢 富人	(社) 星野 一博
(社) 中根恵美子	

2008年9月卒業生

(人) 朝桐 笑子	(人) 安味 優子
(人) 毛利 俊行	(人) 滑川 節子
(産) 江口 真紀子	(社) 河合 泰信
(生) 佐藤真幾子	(発) 深瀬やよい
(生) 阿部 征子	(発) 大村 真知子

(2008年10月4日現在) 以上 31名

〒・住所・電話番号などの変更のときは、必ず、ご連絡をお願いいたします。

編集後記

今年の夏は猛暑日も少なく、すごしやすい気温が続きましたが、それもあつという間に秋がやってきました。北海道学習センターのある北海道大学構内もナナカマドが日に日に濃い色になっていっています。前回の会報より半年以上経って、やっと第11号を皆様にお届けすることが出来ました。次回はもっと早く、お届けしたいと思っています。

広報担当

<<広告>>

花のキュービット加盟店

株式会社 花のさいとう

札幌市北区北12条西1丁目日本通北向

TEL 011-716-4680・FAX 兼用 011-746-3228

営業時間/AM7:30~PM8:00 まで

日曜のみ PM7:00 まで